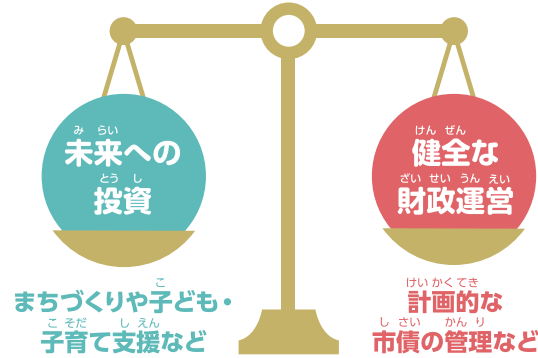


おサイフの健全性を保つための取り組み

札幌市のまちづくりの方針である

「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」での取り組みを紹介

公共施設や道路などの
都市基盤の再整備や子ども・
子育て支援など必要なことには
積極的に投資をしていく一方、
将来世代に過度な負担を残さない
健全な財政運営を進めています。



メリハリが効いていて、
バランス感覚を持った
おサイフを目指してよ。



1 メリハリの効いたおサイフに

より便利で暮らしやすいまちづくりや子ども・子育て支援など、
必要なことには積極的にお金を使います。

5年分のお金の集め方、使い方の計画である
中期財政フレームに基づいて、
おサイフのやりくりを考えています

中期財政フレーム（一般会計）※令和8年度予算反映

		令和5年度予算	令和6年度予算	令和7年度予算	令和8年度予算	令和9年度見込み	期間合計
歳入	一般財源	5,804億円	5,931億円	6,132億円	6,496億円	6,492億円	3兆855億円
	国・道支出金	3,917億円	3,445億円	3,849億円	4,048億円	4,274億円	1兆9,533億円
	市債	701億円	964億円	855億円	928億円	943億円	4,392億円
	その他	1,953億円	1,829億円	1,559億円	1,503億円	1,475億円	8,319億円
	基金活用額	93億円	247億円	272億円	210億円	248億円	1,069億円
	合計	1兆2,469億円	1兆2,417億円	1兆2,666億円	1兆3,185億円	1兆3,431億円	6兆4,168億円
歳出	義務的経費	6,049億円	6,367億円	6,750億円	7,183億円	7,228億円	3兆3,577億円
	職員費	1,533億円	1,617億円	1,634億円	1,733億円	1,692億円	8,210億円
	公債費	918億円	926億円	932億円	1,083億円	1,081億円	4,940億円
	扶助費	3,598億円	3,823億円	4,185億円	4,368億円	4,455億円	2兆428億円
	他会計繰出金	1,100億円	1,155億円	1,176億円	1,228億円	1,228億円	5,887億円
	建設事業費	1,359億円	1,492億円	1,354億円	1,566億円	1,735億円	7,505億円
	その他事業費	3,961億円	3,404億円	3,386億円	3,208億円	3,240億円	1兆7,199億円
	合計	1兆2,469億円	1兆2,417億円	1兆2,666億円	1兆3,185億円	1兆3,431億円	6兆4,168億円

私たちにも
できることを考えて、
実行していかなきゃ。



3～4ページの
令和8年度予算の
ポイントを
もう一度見てみよう！

2 持続可能なおサイフへ

今後10年間で、入ってくるお金はゆるやかに減っていき、
支払うお金は増えていく見込みであり、限りある貯金をくずしていくことになります。
そのため、いざというときに備えて、貯金を残す取り組みが必要です。

今後の財政状況を踏まえながら、
将来世代に過度な負担を残さない
持続可能な財政運営を進めていきます。



民間の力をもっと
活用するための取り組みも
進めているんだって。



公共施設
マネジメントを
すす
進めま

今後10年間の見通しは
広報さっぽろ2026年4月号に
詳しく載っているよ！

3 将来世代に過度な負担を残さない健全なおサイフへ

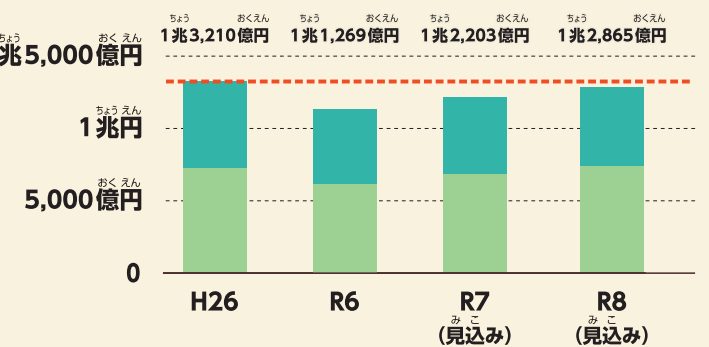
子どもたちが大人になった時に負担が大きくなりすぎないように、おサイフの中身をコントロールします。

将来的に人口が減っても市債残高が
大きくなりすぎないように
平成26年度末の水準を上回らないよう、
適切に管理します



将来を見据えた計画のもと、
さっぽろのおサイフは
しっかりやりくり
しているんだね。

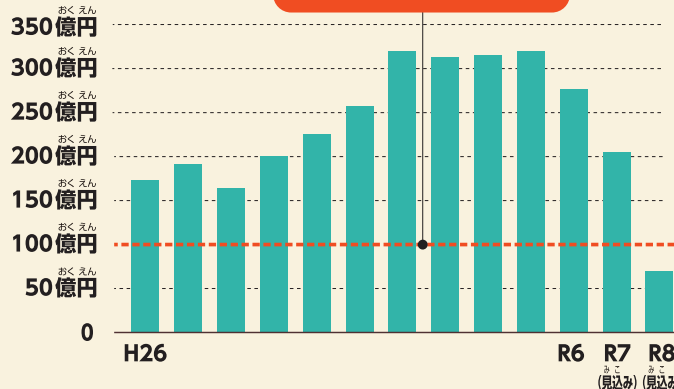
市債残高



※臨時財政対策債を除く、全会計の市債残高

財政調整基金

アクションプラン2023で、
維持するとした水準
(100億円)



市の貯金である財政調整基金が
減りすぎないように、
収入と支出のバランスを調整します

大雪や災害の時のために、
市の貯金はなるべく
減らさないようにして
いるんだって。

